

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム稲武の家

目標達成計画

作成日: 令和4年 1月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	19	コロナ禍の影響もあり、御家族様の足が遠のいている現状がある。面会の制限や制約を繰り返しお願している状況でもあり、あえて来館を控えて下さっている。電話等で話をする機会もあるが、時間や内容も限定的になってしまっている。	実際に顔を合わせて話をする事で伝わり感じる、言葉以外の情報は多い。入居者様と御家族様間であっても、御家族様と施設職員間であっても同様の事が言える。感染防止対策を大義にあらゆることを一律に禁止したり制限を設ける体制を見直したい。	感染状況を全く考慮しない判断は現実的に困難である。宣言の解除、状況の沈静、ワクチン接種完了、検温、消毒の実施等を条件にしながらも御家族様の来館、面会制限を緩和していく。御家族様間での触れ合いの機会を積極的に取り戻していく。	12ヶ月
2	48	個々の希望に沿った過ごし方で気分転換を図っていただいているが時間や備品も限定的である側面もあり、多少のマンネリ感が否めない。今までやってこられた楽しみのみが継続されている現状に感じる。	皆が楽しめるレクリエーションの種類を増やしていく。今までの楽しみに加え、新たな楽しみを発見していく。新鮮味のある生活を送り、常に刺激を感じられる毎日になる様に努める。	積極的に新たな試みを実施していく。都度都度、改善や修正を行い皆が楽しめるレクリエーションを考える。理解度やADLにも個人差があり同一ユニット内での実施が困難な事もある。ユニットを越えた楽しみの提供も考慮する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。